

研究課題名	脳血管障害患者の食形態に関する検討
実施責任者	所属・職名：歯科口腔外科 部長
	氏名： 伊東 優
研究の概要	脳血管障害患者の50%に出現する摂食嚥下障害の多くは時間経過で改善する場合が多い。しかし、その回復過程において口腔機能低下に伴い誤嚥性肺炎となる場合がある。そのため、口腔機能の回復状況や摂食状況に応じた食形態の工夫が必要である。今回、当院で入院加療を受けた脳血管障害患者における食形態や経口摂取開始状況について検討する。
対象となる個人情報	2020年1月～2025年12月までに当院において、入院加療を行った脳血管障害患者を対象に、カルテに記録されたデータを元に、1：疾患名 2：障害部位 3：術式 4：入院中の食形態 5：誤嚥性肺炎の発症などについて検討する。
実施の期間	西暦 2020年 1月 1日より
	西暦 2025年 12月 31日まで
研究対象	当院において、入院加療を行った脳血管障害患者